25/3/13 名古屋市議会経済水道委員会（名古屋城部分）
名古屋市民オンブズマンによる半自動文字起こしアプリによる文字起こし

委員長：では次に、観光文化交流局関係であります。ご要求のありました資料が提出をされておりますので、
まずは資料についての当局の説明を求めます。
総務課長。かけて説明してください。

総務課長：
ありがとうございます。
それでは、観光文化交流局関係でご要求のありました資料につきましてご説明申し上げます。
恐れ入りますが、お手元の経済水道界経済水道委員会説明資料の 1 ページをお開き願います。
1、大河ドラマを契機とした観光の推進についてでございます。
事業の内訳として、大河ドラマに係る歴史観光推進施設の整備や展示運営、気運醸成プロモーションなどの区分ごとに金額を掲げさせていただきました。
ご覧賜りたいと存じます。
2 ページをお願いいたします。
2、第 70 回名古屋まつりにおける来賓席についてでございます。
令和 6 年 10 月に開催した第 70 回名古屋まつりの際に市役所本庁舎前に設置した来賓席について
（1）には、廃石像、3 ページへ参りまして、（2）は来賓席の内訳をそれぞれ掲げさせていただきました。ご覧賜りたいと存じます。
4 ページをお願いいたします。
3、多文化共生の推進に係る主な事業についてでございます。
主な事業の区分ごとに具体的な実施内容をか掲げさせていただきました。
5 ページに参りまして、4、ウクライナ避難民の支援についてでございます。
（1）には趣旨を（2）は概要といたしまして、個別の相談支援登録窓口の運営や市民交流イベントの実施など、事業の区分ごとに具体的な実施内容をかけさせていただきました。ご覧賜りたいと存じます。
6 ページをお願いいたします。
5、石垣保存対策についてでございます。
事業の区分ごとに、当初予算および繰越明許費の金額をそれぞれ掲げさせていただきました。
以上誠に簡単ではございますが、ご意見ありました資料についての説明をさせていただきます。
よろしくご審議賜りますようお願い申し上げます。

委員長：では説明が終わりましたので、資料に対する質疑を含め、ご質疑を許しをいたします。

みつなか美由紀（共産・緑区）:6 ページに 5 石垣保存対策として資料を出していただきました。
この資料の質疑に入ります前にまず、石垣対策、現在どのような状況なのか、お聞きしたいと思います。

名古屋城総合事務所天守閣整備山田担当課長：現在の石垣保存対策の状況をお尋ねいただきました。こちらにつきましては、石垣保存対策を行っていくに当たりまして、平成 30 年度から令和 5 年度までの間、文化庁、それから有識者からのご指導をいただきまして必要な調査を重ねてきております。
具体的には天守台、それからその周辺石垣の現状把握ですとか発掘調査、穴蔵石垣の天守周辺、それから背面調査、御深井丸等の発掘調査、それから石垣モニタリング等を行ってまいりました。
石垣調査につきしては穴蔵石垣の調査を除きましてひと区切りついたものというふうに考えております。
また石垣モニタリングにつきましては継続して行っていきたいと考えております。
現状といたしましては、これまでの調査等を踏まえまして、天守閣整備事業が予定されている範囲の天守台、それからその周辺石垣におきまして有識者等慎重な協議をしながら、令和 5 年度から石垣の修復、それから補修を実施する具体的な範囲や手法を確定させるための保存対策設計を進めているところでございます。
設計は完了いたしまして、現状変更許可を文化庁からいただいたところにつきましては令和 6 年度から保存対策工事に着手しているという状況でございます。

みつなか美由紀（共産・緑区）： 様々な状況でございますけれども、現在の段階としては、天守の木造復元事業は、現状変更許可が下りる前の段階だというふうに認識をしています。にもかかわらず、来年度の予算として保存対策の設計に 2020 万円ですね、モニタリングに 476 万円と多額な予算計上がされていると思います。この段階で石垣保存対策を行うというのはどんな理由によるものなのか、お答えいただきたいと思います。

天守閣整備担当課長山田担当課長：天守閣整備事業が予定されております範囲の大天守台それから周辺石垣におきまして、これまで文化庁や有識者の方々からのご指導を受けまして、必要な調査を重ねてきた結果ですね、劣化等がかなり進んできている部分があることなど課題がございまして、有識者の方から早期に保存対策を実施する必要があるといったご意見もいただいていることから、維持保存を石垣の維持保存を目的として整理適切な措置を行うため実施していくといったものでございます。

みつなか美由紀（共産・緑区）： 確かに石垣も劣化しているというところでは、保存対策必要だと思いますけれども、来年度の予算に掲げられている天守台および周辺石垣の保存対策というところでございますけれども、もう少し具体的にですね、どこの部分の設計なのか、

また資料にも出していただきましたが、繰越明許費としての額あります、これがどこの工事をするものなのか、より具体的にちょっと説明をしていただきたいと思います。

整備担当課長山田担当課長：来年度の予算の設計にかかる場所のこと、それから繰越予算の工事にかかることの場所についてお尋ねいただきました。こちらにつきましては令和７年度の天守台および周辺石垣の保存対策の設計の場所といたしましては、主に天守台の北面との石垣、それから小天守の西側にございます主首の石垣になります。なお繰越明許費により工事を行う場所といたしましては、天守台の北側にございます。御深側の石垣になります

みつなか美由紀（共産・緑区）： 私も石垣の保存は大変重要だと思っておりますし、小天守、大天守、天守台、そしてその周辺の石垣ももちろん、保存対策工事というのが必要だということはわかります。しかしまずその天守台とその周辺を先行して行うということには、木造復元工事をするための準備という意味合いも大きくそこにあるということについては異論があります。
現在当局での総括がまだ進められている途中ということでありまして、総括が終わり、そして障害者の方や障害者支援団体の方々への説明をし懇談をし、そこで理解が得られるのかというところまではまだ相当の時間を要するものと考えられます。
そして、さっきの決算委員会のときにも木造天守復元事業の事業費についての資料を出していただきましたけれども、来年度の予算案にも載っておりですが、木材の製材ですね、置いておくだけで、毎年１億円以上と、来年度も約１億 1500 万円上がっております。505 億円の契約をまたこれ増額される可能性もあるのではないかという危惧もいたしますけれども、他の様々な経費、また閉館をしている現天守閣の維持費など毎年毎年、積み上がっているということも決算委員会では確認をさせていただきました。
着工の見通しが全く持てない中で、木造復元ありきの、前提としての石垣修繕の予算というのは認められないと考えています。
木造天守復元事業については一旦白紙に戻し、原点に立ち返って検討し直すべきだという意見を申し上げて終わります。

小出昭二（自民・中村）：ちなみに、所管している名古屋城のですね１年間で、今どのぐらい来てらっしゃるからですけど、どのぐらい来てらっしゃって、愛知県内から来てらっしゃる来場客って何割ぐらいあるんでしょうか。

名古屋城総合事務所管理活用課長：失礼いたします。
令和５年度の入場者数の実績で申しますと、205 万 9707 人でございます。この内訳につきましては、ちょっとないですけれども、県内の割合というところで言いますと、ちょっと少し古い、10 年前のデータになってしまうんですけれども、名古屋城来場者アンケート調査 2015 報告書というのがございまして、このうち市内が 11%、それから市外が 89%でございます。この市外の 89%のうち県内が 7%を占めており以上でございます。

小出昭二（自民・中村）：　名古屋城だと 20%、トータル 20%ぐらいってことになるのかな、愛知県内がということですね。ちなみに名古屋港水族館。名古屋港水族館でも 1 年間で今 200 万人以上の方がいらっしゃって日本で第 3 位の来場客数があるわけですね。名古屋港水族館の場合はですね、愛知県内のからのお客さんが 50%なんですね。
つまりどういうことかというと、大河ドラマ館を開館されて、私はスタートダッシュが一番大事だ。機運醸成が自然の流れの中で湧き上がって、機運が醸成されていくなんてことはないので、いろんなアプローチをされようということだと思うんですけど、前半戦は特にこの名古屋の地域が多分、ドラマの中でもスタートですから、そういったことでも出回わるので、やっぱり愛知県全体に対してしっかりとした PR 機運醸成をしていただかないいけないかなと。
例えば名古屋市内の中だけでもですね、例えば観光文化交流局の所管されてる様々な会館もたくさんあると思いますし、それから名古屋市内のスポーツ市民の関係になればコミュニティーセンターとかそれから区役所全てですとかですね、いろんなところにそのポスターを貼っていただくだけでも、様々な名古屋市内でも場所があるし、愛知県と協力をしっかり来ていただければ、愛知県内様々な場所にポスターなんかも貼っていただけると思うんですね。ですからポスター一つとってもできるだけその 1 枚でも多くというようなご努力をしていただきたいなと。
大阪万博で言いますと、大阪万博のポスターって見ないですもんね、なかなかね我々。ですからやっぱり今回の大河ドラマ館においてもポスターなんかは、まずは愛知県のお客様が半数近くを占めるということはデータでも出てますので、そこに対して来年度、徹底したアプローチを他局としっかり組んでいただいて、先ほどもお話ありましたが、交通局なんか非常にウエイト大きいと思うんですね。
市バスや地下鉄でどれだけ協力をしてもらうか、それから各局全部あるんじゃないすかね。ですから全局にお願いをして、しっかりポスターを貼っていただくなり様々な PR ができるツールお渡しをいただいて、全市挙げて機運醸成に取り組んでいただきたいなというようなことを要望して終わります。

浅井正仁（自民・中川区）:それではですね、今日も中日新聞に載ってました。
名古屋城の本丸を除く有料エリア、ちょっとここについて質問させていただきたいんですけど、この本丸外無料化実験、これはそもそもどうしてこういう話になったのか、教えていただきたいと思います。

名古屋城総合事務所管理活用課長：
本丸外の無料化実証実験がどうしてやろうと思ったのかというところでございますけれども、さきの市長選挙におきまして、広沢市長がマニフェストに掲げておられまして、そのことをですね実現をするということで、今回予算を計上させていただいております。

浅井正仁（自民・中川区）:そうすると無料化実証実験の概要、24 時間開けるのか、朝の 6 時から開けるのか、今まで通りなのか、そういった内容ちょっと教えてください。

管理活用課長三谷担当課長：本丸外無料化実証実験を実施概要につきましてお尋ねをいただきました。実施方法といたしましては改札をですね、本丸の入口となります。
表二の門の付近に新たに設置をいたします。入場券につきましてはこれまでと同じように正門と東門で、それぞれお買い求めいただいて、表二の門の改札で入場券を確認していただいて、本丸の中に入っていただくということを想定しております。またあの時間につきましては、正門と東門の開門と閉門なんですけれども、現在の時間から変更することはなく、通常通り午前 9 時に開門午後 5 時に閉門することを想定をしております。
それから実施の時期につきましては、秋から冬の最大 1 ヶ月を想定しているんですけれども具体的な期間につきましては現在検討をしているところでございます。
でこの実証実験を行うにあたりまして、観覧方法に大きな変更を伴うことになりますので、周知期間ですとか、事業者との調整の期間を考慮し、具体的な時期を今後決めてまいりたいというふうに考えております。実施期間が最大 1 ヶ月としておりますのでこの効果測定をして効果測定を取るために最大 1 ヶ月というふうにさせていただいております。以上でございます。

浅井正仁（自民・中川区）:まず今の入場券を買うところはそのままで、新たに本丸に入るために入場券を買うのか、だけど正門のところで売るの、正門のとかで売るんだな。

管理担当課長：チケットにつきましては正門と東門で販売しておりますので、今までと同じところでお買い求めいただく形を考えております。

浅井正仁（自民・中川区）:それは、あくまでも本丸御殿に入るための入場券ということだよね。

三谷担当課長：本丸エリアというふうに考えておりますので、表二の門から不明門の通用口を通っていただいて入っていただくエリアになります。本丸御殿もございますし天守閣もございます。

浅井正仁（自民・中川区）:なら、今の門のところの人は別にいなくてもいいんじゃないの。そこで売ればいいんだもん。さっきの 500 万は人件費だと思うんだけど、そこの部分省けるんじゃないの。

三谷担当課長：チケットの販売につきましては正門と東門で行うことを今考えておりまして、そこであわせて名古屋城という有料エリアと無料エリアに入っていただく方もカウントしておりますので、そこで一定の人数が必要になります。さらにはその有料エリアとなります本丸に入っていただくときに、チケットのもぎりをして中に入っていたことになりますので、

その方の人数も必要になりますし、あとは案内ですとか誘導といったスタッフも必要になりますので、そういったところで今回 500 万円という予算を計上をさせていただいているんですけれども、そのうちの 400 万円が人件費ということで考えているところでございます。以上でございます。

浅井正仁（自民・中川区）:そもそもこの秋の 1 ヶ月なんで、秋って一番人が来るときでしょ多分、桜のときかなどっちかよくわかんないんだけど、なんで秋の 1 ヶ月だけなのか。

三谷担当課長：秋から冬のですね、1 ヶ月というふうに設定をしておりますのは、観覧方法に大きな変更を伴うことになりますので、周知の期間でとか事業者との調整の期間ということを考慮しまして、年度の下半期ということで、秋から冬ということで今のところ考えております。

浅井正仁（自民・中川区）:でもこれ実験ってことはね、1 ヶ月やるってことは、将来的には一年中、無料開放するというのが前提でやるんだよね、違う。

三谷担当課長：令和 7 年度ですね、まずはその一定の期間、実証実験を行わせていただきまして、来場者の動向を把握させていただきたいというふうに考えております。
この時実証実験の結果をもとに、8 年度以降の実施については検討してまいりたいというふうに考えております。以上でございます。

浅井正仁（自民・中川区）:1 ヶ月やって何がわかるんかなと思うんだよね。
繁忙期もあれば、閑散期もあるしね。トータルやって数字が初めて出るんじゃないのかな。として実証実験でそんじゃ想定されるね。
この効果、例えば入ったけど本丸には入らないとかね、散歩に来て帰えるだとか、確かに入場者数は増えると思う。そういった影響はどういうふうに考えてますか。

管理活用課長三谷担当課長：実証実験で想定される効果と影響といったところのお尋ねでございます。効果につきましては今浅井委員からご意見をいただきました通りですね、近隣に住む方の散策の機会が増えましてそれに伴って無料エリアの入場者数の増加が見込まれるということが考えられます。そうしたことから名古屋城への愛着をさらに醸成していただくということにも繋がっていくかなというふうに思っております。
それから本丸エリア外でのイベントというものも行いやすくなるかなというふうに思っておりまして、それに伴って集客が見込めるということがございます。
さらにはですね、本丸エリア外の店舗の売り上げの増加といったところも効果としては考えられるかなと思っております。

それから一方でですね、影響といたしましては、有料エリアの入場者数、それから本丸エリア内にも店舗がございますので、その店舗の売り上げ、それから警備や清掃といったスタッフ数の確保に伴う管理費といった点で影響があると考えております。以上でございます。

浅井正仁（自民・中川区）:今有料エリアの入場者数が影響っていうのは、プラスに行くのマイナスに行くの。今までだと入場すれば 500 円もらえた。これをやるとあなたたちの考えていくと、プラスに転じるのかマイナスに転じるのか、それとも、そこまで把握できてないのか。

三谷担当課長：今回の実証実験の結果ですね、その有料エリアに入る方が増えるのか、それとも変わらないのか減るのかといったところのご質問だったかと思います。現状としてはですね増えるのか減るのか、変わらないのか減るのかといったところの数字は持ち合わせておりませんでして、まずこの実証実験を機会にですねそうした部分の数字もしっかりと把握をしていただきたいというふうに考えております。以上でございます。

浅井正仁（自民・中川区）:僕はね、あの大阪城ってすごいな、いいなと思ってんですよ。誰もが入れて、夕方になったら夕涼みをして大道芸人が何かやっとって、だからすごい人なんだよね。またロケーションもいいんだよね大阪城って、僕もああいうのが理想だ。
だから僕も無料開放いいなと思ってる。それがやっぱり愛着に繋がるしと思う。そん中で 1 ヶ月の実証実験で、ひょっとしたらこれに入場者数も収益が減るかもしれない。
だけど実験しんとわからん。ひょっとしたらこれ市長だってさ、本当は 1 年って言ったかもしれない。その真意はわかんない。
これが結果によっては、木造復元の収支見込み、入場者数、入場料で木造復元をやると言っとった。
そこにもこれ影響してくるんだよね、違う。どうなんだろう。

観光に係る名古屋城活用担当課長：失礼いたします。
現在名古屋城木造天守復元事業の趣旨につきましてお尋ね頂戴したかと思います。議員ご指摘の通りですね、名古屋城の収益、木造天守復元事業におきましては入場料で賄うというふうな基本方針を立ててございますことから、入場者数の増減が事業への影響を及ぼすものというふうなところは影響があるかと思っております。実験の結果によりまして、増える減るというところは今後のデータにより出して判断してまいりたいと思っておりますけれども、そういったところで何かしらの影響が及ぶ可能性はあるというふうな認識を持っております。以上でございます。

浅井正仁（自民・中川区）:そうするとこれ木造復元にも影響してくるし、ちょっと一回ねその市長の真意っていうのをね、せっかくだから聞きたいんだけど、委員長、総括の日で結構でございますんで、市長さんを呼んでいただけないでしょうか。

委員長：ただいま浅井委員の方からご発言ありまして、市長に対する出席の要求ということでございましたが、確認をちょっとさせていただきたいんですが、名古屋城の天守閣事業に関するおよび本丸外無料化実証実験いうことについての質疑がしたいという趣旨でよろしいでしょうか。

浅井正仁（自民・中川区）:だけどそこにはやっぱり木造復元もありますんで、そこ全体触らせていただきたいと思うんです。

委員長：わかりました。
では、名古屋城天守閣木造復元事業および名古屋城の本丸外の無料化実証実験についてということでよろしいですかね。

浅井正仁（自民・中川区）:木造復元があれば結構です。

委員長：では対応につきましては、正副委員長の方でご相談をさせていただきまして判断をさせていただき後日、正副委員長の方からご判断をさせていただいて発表させていただきたいと、ご一任をいただきたいというふうに思いますので、よろしくお願いをいたしたいと思います。よろしいでしょうか。

浅井正仁（自民・中川区）:すいません、さっきのいろいろあったんだけど、ちょっと資料でお願いしたいと思います。

管理活用課長：資料というのは、本丸外の無料化実証実験の概要のような形でよろしいでしょうか。

浅井正仁（自民・中川区）:概要と効果と影響、

管理活用課長：概要と効果と影響については資料として取り止めて提出をさせていただきたいと思います。

委員長：はい、よろしいですか。
他によろしいでしょうか。